

令和7年度 自己評価書及び学校関係者評価書

学校番号 : 34505
札幌市立厚別中学校

自己評価結果	A+ : 90%以上	A : 85%以上	A- : 80%以上
	B+ : 75%以上	B : 70%以上	B- : 65%以上
	C+ : 60%以上	C : 55%以上	C- : 50%未満

※ 肯定的割合 = 「そう思う」「ややそう思う」の合計の全体における割合 (%)

分野	評価項目		自己評価		学校関係者評価		
			肯定的割合	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ	
学ぶ力の育成	1	本校は、基礎・基本の定着において、生徒が「分かる・できる・楽しい」授業構築に向け改善・工夫に努めているか。	83.3%	A-	生徒が「分かる・できる・楽しい」と感じられるよう、指導と評価の一体化を意識した授業実践の改善について研修を継続する。	B	A
	2	本校は、思考力・判断力・表現力等を高めるために、言語活動や問題解決的な学習活動の充実に努めているか。	84.6%	A-	教科横断的な実践交流を積み重ねながら、課題探究的な学習活動の工夫を継続する。		
	3	本校は、生徒に将来の見通しをもたせながら、進路に関して適切な支援・指導に努めているか。	60.0%	C+	総合学習「みらくエ」での体験を行っているが、中学校卒業後の進路について真剣に考えられるよう、3年間のカリキュラムについて改善を図る。		
学校関係者評価者による意見		・進路指導については、保護者、生徒ともに肯定的な評価が高いのは、総合的な学習の時間での取り組みの成果である。しかし自己評価が低いのは、指標や基準を高く設定していることが理由ではないだろうか。生徒の姿から判断基準設けるなどの工夫が望まれる。					
豊かな心の育成	4	本校は、生徒との関わりを大切に、生徒理解に努めているか。	83.3%	A-	日常的なコミュニケーションを大切にしながら生徒に寄り添い、家庭との連携を図りながら、一人一人が自らの課題に向き合えるよう支援する。	A	A
	5	本校は、社会のルールやマナーを守ることの大切さについて共通理解に努め、生徒支援・指導にあたっているか。	83.3%	A-	生徒の主眼的な判断を大切にしながら、社会や学校のマナーやルールを意識させる支援・指導について共通理解を深めていく。		
	6	本校は、思いやりの心を育て、いじめを許さず、命の大切さを感じさせるような支援・指導に努めているか。	91.7%	A+	道徳の授業の中で系統的に支援・指導することに加え、日常の学級活動でも、命の大切さについて考える機会を増やしていく。		
学校関係者評価者による意見		・学び方の多様化などから生徒や保護者の意識の変化もあり、別室を利用する生徒が増えてきているのではないだろうか。学校側として別室を拡大するなど、個々の生徒に対応しようとする取り組みは評価できる。 ・自己管理できるよう手帳やクロムブックなどのツールは配付されているが、十分に使いこなせていない可能性がある。指導方法や使い方の改善を検討できたらよい。 ・多様な問題について学校の取り組みだけでなく、保護者同士の情報交換の場所を設けられるとより改善されると思う					
健やかな体の育成	7	本校は、生徒の体力・運動能力を維持向上できるように、スポーツに親しみ、運動習慣づくりに取り組めるような支援・指導の充実に努めていますか。	75.0%	B+	保健体育の授業や部活動、体育的行事などを通じて、運動することの楽しさを実感させるとともに、運動する習慣の定着を図る支援・指導を継続する。	A	A
	8	本校は、生徒の健康の保持増進を目指し、食事や睡眠など基本的な生活習慣の確立に向けた支援・指導の充実に努めていますか。	91.7%	A+	給食指導を中心に自分自身の食生活へ目を向けさせるとともに、睡眠時間を確保するための自己管理能力を育む支援・指導を工夫する。		
学校関係者評価者による意見		・スポーツへの親しみ、運動の習慣の定着について、「スポーツ観戦」「自分の健康管理」など視点を変えて取り組めるとよいのではないかと。食生活や睡眠時間の改善など健康管理へ対する意識を高めることが、体調不良が要因となっている不登校生徒の改善につながるのではないだろうか。					
信頼される学校の創造	9	本校は、生徒にとって魅力ある学校生活を送れるよう努めているか。(学校行事、学級活動、生徒会活動、部活動など)	83.3%	A-	本校の合唱行事「音魂クール」や「各学年の体育大会」をはじめとする各行事の目的を改めて大切にしながら、生徒が主体的に取り組むことができる充実した活動になるよう改善する。	A	A
	10	本校は、保護者や地域への学校の教育方針や様々な情報提供をわかりやすく行っているか。	91.7%	A+	保護者への周知が必要な情報は文書やICTを活用しながら確実に通知し、学校だよりと学校ホームページを用いながらタイムリーな情報を保護者と地域に発信する。		
	11	本校は、読書習慣の定着や落ち着いて授業に取り組む雰囲気づくりを目指し、朝読書に取り組んでいるか。	66.7%	B-	朝読書の時間を活用し、読書をする習慣の定着を図りながら、生徒が集中力を高めたり、知見を広げたりする環境を整えていく。		
学校関係者評価者による意見		・情報発信について学校・保護者間メールの「すぐー」は大変効果的であるが、学校ホームページに送信の履歴があるとさらに良い。 ・インフルエンザなど感染症による学級閉鎖の情報は感染拡大防止の観点から、当該家庭以外にもに流した方がよい。 ・進路選択について各学年でどのような学習が行われているか、保護者にも周知されるとありがたい。 ・各学年の傾向や経年変化の傾向をしっかりと検討できるように、アンケートの回収率を上げる工夫が必要である。					